# 1983

## 昭和58年

| | | |
|---|---|---|
| 1983（昭和58年） | 5月 | 議員改選 40人 |
| | 5月 | 海岸線調査特別委員会を設置 31 |
| 1984（昭和59年） | 10月 | 明治史料館オープン |
| 1985（昭和60年） | 4月 | 中国・岳陽市と友好都市提携 32 |
| 1986（昭和61年） | 4月 | 保健センター・青少年教育センターオープン |
| | 10月 | 沼津市議会議員の定数減少条例を改正 33<br>（議員定数を法定44人・条例定数40人から条例で36人に） |
| | 11月 | 一般・特別会計決算特別委員会（定数40人）を設置<br>（審査終了により解散） |
| 1987（昭和62年） | 3月 | 東海道本線片浜駅開業 |
| | 3月 | 核兵器廃絶平和都市宣言 |
| | 5月 | 議員改選 36人 |

1983

海岸線利用海から調査

沼津市会の調査特別委 地形などチェック

【花田】県第一港湾、愛称「富んだ港湾」を今後のように利用・保護していくかを検討中の沼津市議会、海岸線調査特別委員会（山口栄吉委員長）は二十四日、海から海岸線を視察し、農林的な利用面の参考データとして活用する。

同委員会が今年三月まで定めた基本構想によると、海岸線を原十片、千本、我入道、牛臥、静浦、内浦、西浦のセゾーンに分け、それぞれのゾーンについて、「現状と展望」「今後の方向性」の両面から分析を加えている。

例えば、原・上原、千本地区は余暇利用ゾーンとして活用が好ましく、原・千本地区は既存ジョギングコースの延長、遊歩道の開設、千本地区は海水浴場の整備、野外コンサート地の設置などが求められる。

また、芦沢浄瓶を抱え後入道地区は文化教育ゾーン、牛臥・静浦地区は総合レジャーゾーン、静浦、内浦地区は漁業ゾーン、西浦地区は自然保護ゾーンとされ、地区の特色を活かした利用面を構ければ、

二十四日の特別委では現況を基に、海岸から「中会に分けての地形を視覚し、現状の平で海岸線の景観、眺望などを検討面の上からチェックしてその後、小型遊覧船に乗り込んで、市内用二十キ。

の調査線を海上からつぶさに視察する予定。地図、あるいは絵上の表面に海から見た海岸線のイメージとらえた海岸線のイメージ。実際に海から見た海は線の姿とは異にはかなりの格差があることも予想される。基本構想のせに地域、拍手喝采（出以一島郷地区）、ヨットハーバー、釣り場、船溜き場（内浦地区）、市少年臨海施設、観測植物園（西浦地区）など具体的な施設の設定を視野している部分もあり、この「海上視察」となった。構想の細部に、一般検査のメスが加えられる。

昭和58（1983）年10月22日
静岡新聞

**31 海岸線調査特別委員会を設置**

1990

沼津市議会

議員定数4人削減

法定数、大幅に割り込む

沼津市自治会議会（後藤良平会長）などから強い要望が出ていた同市議会の議員定数削減条例が九月、同市議会月定例会に上程され、原案通りに可決された。現行の四十人から四人減らし三十六人となる。議員定数は人口増に伴い四十二年四月の選挙で四十人に増員されて以来、二十年ぶりに来年四月から三十六人に逆戻りする。

議員定数の削減は昨年九月、各会派の代表議員で構成した議会の一本化への調整がつかなかったため、同市議会の九会派のうち六会派が「議員の定数減少条例の部改正」の議員発議案として連名で議長のもとに提出していた。人口増加に伴い、沼津市の議員定数は法定で四十四人となっているが、五十六年の議員発議で四十人に減ずる条例を制定している。

昭和61（1986）年10月10日 静岡新聞

**33 議員定数を40→36に法定定数から8人削減**

議員定数を4人減員とし、次回の一般選挙から議員定数を36人とした。これにより、法定定数と比べて8人の減となり、昭和62（1987）年4月26日に行われた選挙では当選者が36人となった。

**32 中国・岳陽市と友好都市提携**

沼津市会が全会一致で可決

岳陽市（中国）との都市提携

沼津市議会の臨時議会が十一日開かれ、市側から提案のあった中国湖南省岳陽市との友好都市提携案を全会一致で可決した。同市はこれを受けて、具体的な調印手続きを進めていくが、岳陽市側から早期締結を強く要望があるため、早ければ来春に調印式を計画したいとしている。

岳陽市は中国中南部の揚子江沿いにある人口百十万の都市。中国屈指の風光明美な洞庭湖を湛え気候温暖な地として知られる。農業、畜産業を中心に発展してきたが、お茶、ミカンを主産品とする。

また、岳陽市は総合的な開発を進めていく方針。

昭和59（1984）年12月12日
静岡新聞

1990

下水処理施設、市街地再開発…

先進国の実態つぶさに

沼津市会 視察団、来月欧州へ

沼津市議会の海外視察団（団長・西山次雄議長）が九月十一日から十日間の日程で、スウェーデンなど三カ国を訪問する。全議員の六割強に当たる二十二人が参加する自主研修で、費用はすべて自己負担。これほど大規模な海外視察団は市議会でも初め

本格的な「クリーンカプセル方式」の採用を決めたため、日本下水道事業団から持ち上がった。事業の推進には議員自らが施設に対する知識を深めることが重要と考えた西山議長の呼び掛けで集まり、併せてこの機会に当面する行政課題についても研修してくることにした。

視察団には日本下水道事業団や県、市の関係者らも同行し、総勢三十人。まだ一部の日程が正式に決まっていないが、来月十一日成田を出発し、世界で唯一「クリーンカプセル方式」を導入しているスウェーデン・ストックホルムのカバラ下水処理場を視察した後、パリでデファンス地区再開発事業および下水道施設、さらにロンドンでウオーターフロント開発などを見て回り二十日帰国する。実質八日間で三カ国を回るハードな日程になっている。視察団は二十一日、日本下水道事業団の幹部らを迎えて事前研修を行い、視察に備える。西山議長は「議員も意欲的で、有意義な視察になると思う。沼津市の将来にかかわる重要なテーマばかりなので、時間の許す限り先進地の実態を見てきたい」と話している。

平成元（1989）年8月22日 静岡新聞

**34 海外視察団が欧州を訪問**

議員22人と市関係者ら総勢30人が下水道処理施設や市街地再開発事業などの先進国であるフランスなど3カ国を自費で訪問した。

**35 永代橋架け替えが完了**

昭和62（1987）年に架け替え工事が始まり、平成2（1990）年に完了。写真は4月7日に行われた開通式の様子。

## 平成

| | | |
|---|---|---|
| | 9月 | 病院事業会計決算特別委員会（定数9人）及び水道事業会計決算特別委員会（定数9人）を設置 |
| | 11月 | 若山牧水記念館オープン |
| | 11月 | 一般会計決算特別委員会（定数20人）及び特別会計決算特別委員会（定数16人）を設置 |
| 1988（昭和63年） | 3月 | 鉄道高架化促進対策特別委員会（定数12人）を設置 |
| | 7月 | 市立病院が東椎路に新築移転 |
| 1989（平成元年） | 9月 | 沼津市議会海外視察団が欧州を訪問 34 |
| 1990（平成2年） | 4月 | 永代橋架け替えが完了 35 |

### 世の中の出来事

- 1985（昭和60）年　国際科学技術博覧会（つくば科学万博）開催
- 1986（昭和61）年　男女雇用機会均等法施行
- 1989（平成元）年　消費税導入

# 1990

## 平成2年